

宣言！
祈ろう そして 復活を誓おう

医療法人東西会
「世界に向けてのメッセージ」

SHOW THE FLAG!!
未来からの明かりを照らす！

令和維新

人命や健康の維持が経済回復への鍵となる。
来たるパンデミックへ準備しよう！

第45回

SHOW THE FLAG!!

～つながって、共に創る未来へ～ 夢と幸せを求めて!!

リーダーのいない 末法の時代

明るく幸せで夢のある未来の構築には、いわゆる他人任せでは駄目だと悟りました。
今のままで「幸せな夢のある未来」があるのでしょうか。
混沌とした時代を癒やすプロジェクトチームの思いは「愛と叡智を矜持とす」です。

私は「愛と叡智を矜持とす」を常に頭に描き、大切にしています。
人は一人でこの世に生まれ、そしていつかは帰らぬ旅へと赴きます。
“自分を大切にしながら自分のために生きる”
そのためには他者を知り、他者を思い、大切にする事が重要です。

これこそ「つながって、共に創る未来へ」の実現なのです。

仲間をつくり協力しながら社会に貢献し、おのこの人生、もちろん私自身の人生（＝解放区と私は呼んでおります）を充実した満足のいくものにしたいと思っています。
幸せで夢のある未来、人生（＝解放区）へ導く指導者の条件は何なのか？
最後に私の見解を述べておきます。

私の考える以下の喫緊の課題6つ

- ①不況
- ②災害
- ③戦争・テロ
- ④感染症（COVID-19、インフルエンザなど）
- ⑤地球温暖化・沸騰化
- ⑥財政（健全化・規律）

これらの課題は常につきまっています。

私たち医療・看護・介護チームは社会保障を効率化することが急務であると考えています。
現在、松山市の人口は約50万人で、そのうち要介護（支援）認定者は約3万人以上といわれています。
いまこそ病診連携を改めて考えるべきではないでしょうか。

「高度急性期病院」では、救急対応や感染症対策、その他さまざまな急性期の医療を行い、診断や急性期の治療を受け、症状が安定したのち「かかりつけ医」に再び紹介します。
「かかりつけ医」は、患者さまやそのご家族の希望に応じて、看護・介護・見守りなどが対応できる入居先の施設での診療、また、居宅での診療も可能です。

こうして「高度急性期病院」と「かかりつけ医」それぞれが互いに補う形で、地域を支える地域包括型医療を実行するべきだと考えています。

また財政の危機として、財務省によると、国の一般会計（2024年度予算）は一般会計歳出総額は112.5兆円であり、そのうち社会保障費は37.7兆円で全体の33.5%を占めています。

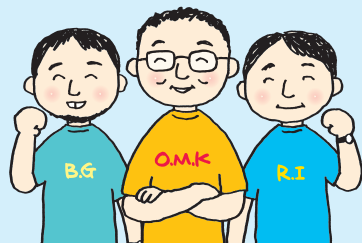
あくまで私の試算ではありますが、この社会保障費の33.5%について、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年問題。また85才以上となる2035年問題によって、一般会計歳出総額の40%を超えないようにしなければいけないと思っています。
そうしなければ、今後20年ほどは財政規律がおよびやかされるのではないかと私は危惧しています。

今こそ価値の転換すなわち「パラダイムシフト」で困難に立ち向かう勇気が必要です。
病診連携もそのひとつといえるのかもしれない。

「改革」する能力を得て「実践」することで、新たな道筋への発見と自信につながり、いかなる困難をも打ち砕くであろうと私は信じています。

「物事を改めるに遅すぎることはない!!」
自分自身の生まれ持った性格や能力を考え、生き方のチェンジ、価値の転換「パラダイムシフト」が大事です。

祈ろう、復活を誓おう！
「朝のこない夜はない」のだから



〈プロジェクトフューチャーメンバー〉
O.M.K(天才) - TA(ティーンズアシスタント)
B.G(天才) - OA(オフィスアシスタント)
R.I(秀才) - RA(リサーチアシスタント)

過去の第9回、第19回に掲載された「未来への道しるべ」でも述べたように、『公智こそ、リーダーの最大の条件である。』(第9回)、『公知公德・私知私徳、今大切なのは前者(公知公德)を備えたチームプロジェクトである。』(第19回)に関わってくる内容ですが、末法の時代の指導者は利害調整に公的視点を持ち、「新たな危機」に対する処理能力を有することが必要であると思っています。

無料動画共有サイトに
右の動画を公開中！
ぜひ、ご覧ください。



令和の時代
コロナ・災害・不況の嵐だ！



生きる証もない暗黒時代



しかし、朝のこない夜はない！



今、私たちは立ち上がった！
どないかせんといけん



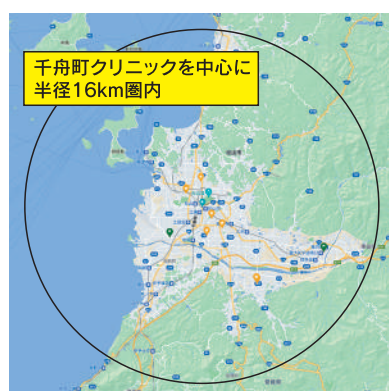
令和 プロジェクトフューチャー！
プライドをかけて発信す



私たちは「社会保障領域のブランド」
医療法人東西会グループです！

お医者さんが来てくれる！

365日・24時間体制で対応
(松山市全域)



医療法人 東西会グループ
外来診療 (かかりつけ医) **内科** 要予約
内科・外科・麻酔科・ペインクリニック内科
(医師/薬師 歩)

私たちは、質の高い
在宅医療・看護・介護を目指しています。

在宅医療の範囲は、医療機関と患者様の所在地が半径16km以内とされています。
※特段の理由や事情がある場合は、この限りではありません。



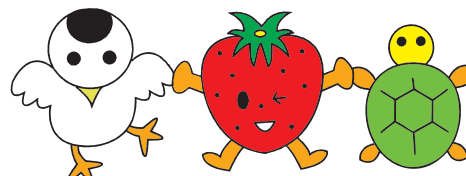
医師数 22名
(令和7年5月現在)

末期がん治療
(緩和ケア)
相談室開設！

安全・安心・健康塾

〈ボランティア活動〉

人の命は、呼吸停止、心停止後5分間で死に至ります。
(5分間ルール)
現場の人達を救命救急士として教育する
「安全・安心・健康塾」の出張講義を
ボランティアで行っております。



(医)東西会イメージキャラクター
「イチゴ・ツル・カメ」
三世代の『絆』を表すキャラクターです。
イチゴはこどもたち、ツルはお父さん・お母さん、
カメはおじいちゃん・おばあちゃんを表しています。

全人的な痛み

- ①肉体的な痛み (physical pain)
- ②心理的な痛み (psychological pain)
- ③社会的な痛み (social pain)
- ④文化的な痛み (cultural pain)
- ⑤スピリチュアル(霊・魂)な痛み (spiritual pain)

参照/介護支援専門員基本テキスト

東京大学医学部臨床研究協力機関 愛媛大学医学部臨床研究協力機関
大阪医科大学(研修医・医学生)在宅医療研修・研究協力機関 関西医科大学との在宅医療研修・研究協力機関

機能強化型・有床 在宅療養支援診療所 (医)東西会 千舟町クリニック

松山市千舟町6-4-9 ☎089-933-3788
http://www.touzaikai.jp/